

令和5年3月14日

保護者 様

令和5年度からの学習活動の充実について

中学校区一貫教育校園  
玉野市立荘内中学校  
校長 住田義広

日頃より、本校教育の充実について、ご支援いただき感謝申し上げます。

さて、ご承知のとおり、本校では「荘内中まなびスタイル」(先行学習を基盤とした協同学習)を進め、学習指導要領が求める学習活動の充実に取り組んでいるところです。予習課題等に取り組みながら授業で学習内容を深化させ、自分の力で整理していくといった取組は、学びに向かう意欲を高め、学力の定着に成果があるものと考えております。

そうした中で、保護者アンケートの内容や今年度の教育活動の振り返りの中で、次年度からの学習活動の一層の充実について、次のとおり実践してまいりたいと考えておりますのでお知らせいたします。

また、次年度からは、年間をとおして「まなトレ」(まなびトレーニング)という時間を設定し、学習の進め方について指導してまいりたいと考えております。

記

令和5年度からの学習活動の充実について

1 評価評定をアップデートしていくために

- ①「荘内まなびスタイル」(先行学習を基盤とした協同学習)を推進します。
  - ②単元学習計画を伝え、単元のゴール(単元末テスト等)を目指して取り組むよう指導します。
  - ③単元末テスト後に再チャレンジの機会も設けます。(下方修正もあります。)
  - ④単元ごとに先行学習課題の取組や授業での取組、振り返り課題等の状況で評価していきます。
  - ⑤各学期の単元を総括して評定を出します。
- ※次年度から単元総合テストは行わず、単元末テストは授業内で実施します。

2 得点力をアップデートするために

- ①2か月程度の期間で年間をとおして「学力診断テスト」を実施し、「2か月サイクル学習」を推進します。(1年生は4回、2年生は5回、3年生は7回、これに加え国・県の学力診断テストあり)
  - ②学力診断テスト間でチャレンジする内容は次のとおりです。
    - ・結果の分析で弱点を整理→次回テストまでの学習計画作成→弱点領域にチャレンジしていく。弱点領域へのチャレンジは、スタディサプリやミライシード、問題集等で取り組みます。
- ※学力診断テストは、業者が学習水準を担保して作成していますので、高校入試時の得点力を図ることに適しています。入学以降、3年生の12月の進路決定までに自分の得点力をアップデートしていく取組を継続させていきたいと考えています。
- 保護者の方も、得点力については「学力診断テスト」を判断資料としてください。